

ベルギー 奇想画系譜展



1. トマス・ルルイ《生き残るには脳が足りない》2009年 ロドルフ・ヤンセン画廊蔵
copyright: studio Thomas Lerooy, Brussels courtesy: rodolphe janssen, Brussels
photo: Philippe D, Hoeilaart

本展のみどころ

・15世紀から現代に至るまでの約500年にわたって現在のベルギー・フランドル地方周辺で生み出された奇想の表現の流れを追うことができます。

・近年の研究でヒエロニムス・ボス工房による制作であることが判明した油彩画《トゥヌグダルストウヌグダルスの幻視》をはじめ、15、16世紀の貴重な作品が約30点含まれます。

・絵画、版画、写真、彫刻、インスタレーションなどさまざまなジャンルの作品を約120点展示します。

・地獄の世界や死のイメージといった教訓を含んだテーマを、時には恐ろしく、また時にはユーモアたっぷりに表した作品群は、幅広い年齢層の方々に楽しんで頂くことができます。

開催趣旨

現在のベルギー・フランドル地方とその周辺地域で中世末期から発達してきた幻想絵画のカテゴリー。ヒエロニムス・ボスが描く悪魔や怪物のような異形のものたちは写実的で、「本物」と感じさせる迫真性に満ちていました。こうした独特な表現の伝統は時代が進んでもカプリッチョ（奇想画）、象徴主義、シュルレアリスムの中にとどまり、今日のアーティストたちにも脈々と受け継がれています。

本展では、ベルギーに生まれた奇想の表現を、15、16世紀のフランドル絵画から現代のコンテンポラリー・アートまで国内外のコレクションによって紹介します。ヒエロニムス・ボスやブリューゲルに始まり、ジェームズ・アンソール、ルネ・マグリットらの時代を経て、そして現代のヤン・ファールブルや若手の作家に至る、およそ500年の「奇想」の系譜をたどります。



2. ヒエロニムス・ボス工房《トゥヌグダダスの幻視》1490-1500年頃
ラサロ・ガルディアーノ財団蔵 ©Fundación Lázaro Galdiano

ベルギー奇想の系譜展

ボスからマグリット、ヤン・ファールブルまで

開催情報

会期 2017年5月20日〔土〕—7月9日〔日〕

開館時間

午前10時—午後6時（金・土曜日は午後8時まで）

入場は閉館の30分前まで

休館日 月曜日

主催

兵庫県立美術館、毎日新聞社、朝日放送、神戸新聞社

学術協力 ベルギー王立図書館

後援

ベルギー大使館、ベルギー・フランダース政府観光局、
公益財団法人伊藤文化財団、兵庫県、兵庫県教育委員会、
神戸市、神戸市教育委員会

協力

エールフランス航空／KLMオランダ航空、日本貨物航空
ホテルオークラ神戸、株式会社フェリシモ

協賛 大日本印刷株式会社

観覧料金

一般 1,500 (1,300) 円、大学生 1,100 (900) 円、
70歳以上 750 (650) 円、高校生以下無料

※（ ）内は前売料金（一般・大学生のみ）および20名
以上の団体割引料金

※前売券は5月19日（金）まで販売

※障がいのある方は各当日料金の半額（70歳以上除く）、
介護の方1名は無料。

※各種割引の適用は、会期中、美術館窓口のみ。要証明。

※県美プレミアム展の観覧は要別途観覧券。（本展とあ
わせて割引あり）。

※主なチケット販売場所：チケットぴあ（0570-02-9999

Pコード：768-196）、ローソンチケット

（0570-084-005 LPコード：56303）、セブンチケット

（<http://7ticket.jp>）、イープラス（<http://eplus.jp/>）パ

ソコン・スマホ・携帯）、CNプレイガイド（Famiポート、

0570-08-9999）。セブン-イレブン、ファミリーマート、

ローソン、サークルK・サンクス、ミニストップ、阪神

プレイガイド（阪神梅田駅・阪神三宮駅）店頭でも購

入可。

第一章 15－17世紀のフランドル美術：
ボスの世界／ブリューゲルの世界／ルーベンスの世界



3. ピーテル・ブリューゲル(父) [原画] / ピーテル・ファン・デル・ヘイデン [彫版]
《魔術師ヘルモゲネスの転落》1565年 プランタン=モレトゥス博物館蔵
Museum Plantin-Moretus/Prentenkabinet, Antwerp - UNESCO World Heritage

奇才ヒエロニムス・ボスは人間の根源的な罪を見つめ、欲望にまみれた人々を待ち受ける「地獄」を鮮烈なイメージで描きました。死後を表す夢の世界として、あるいは聖人を攻撃する悪魔たちの世界として、類稀なる想像力が紡ぐ奇想のイメージは大変な人気を博します。その後続くボス派の作家たちの中でも、とりわけ「第二のボス」としてその豊かな創意を讃えられたのはピーテル・ブリューゲル(父)です。ボス風の怪物や悪魔の世界は、ブリューゲルの鋭い観察眼によって親しみを増し、息子や一族に受け継がれていきました。また、バロック美術最大の巨匠ルーベンスはリアリティと深い感情表現を追求し、悪魔たちでさえ理想的な身体を持ち、恐れや怒りといった感情を激しく表出させる姿で描かれました。

第二章 19世紀末から20世紀初頭のベルギー象徴派・表現主義：
ロップスの世界／ベルギー象徴派／アンソールの世界

1830年に国家として独立を果たしたベルギーは産業革命の波に乗り、イギリスの工業技術をいち早く取り入れて国力を充実させました。こうした社会的状況下、科学の世紀に背を向けて想像力と夢の世界に沈滞しようとする象徴主義の傾向が1880年代の後半に現れます。ボードレールに敬愛された画家フェリシアン・ロップスは、死神や魔性のものたちを蠱惑的に表現しました。彼は死を主題としつつも、魂の解放と上昇をも描こうとしたのです。一方で、フェルナン・クノッフやレオン・スピリアルトは、暗示的な風景や自画像を描き自身の深奥に沈み込んでいきました。またジェームズ・アンソールは、極めて個人的な世界を題材としながらも、骸骨や仮面といった伝統的な表象を用いて、鮮やかな色彩の中に自身が抱えていた孤独や怯えを噴出させました。

4. フェルナン・クノッフ 《天使》1889年 ベルギー王立図書館蔵
The Royal Library of Belgium. All rights reserved.





5. ウィリアム・ドグーヴ・ド・ヌンク《運河》1894年 クレラー=ミュラー美術館蔵 ©Kröller-Müller Museum, Otterlo, The Netherlands ※第二章展示作品

第三章 20世紀のシュルレアリスムから現代まで：

デルヴォーとマグリット／ヤン・ファールと現代のベルギー美術



ボスから始まった芸術における奇想の表現は時代とともに形を変え、20世紀に入ると絵画や版画のみならず、彫刻、音、インスタレーションへとさまざまなジャンルに取り入れられました。両大戦間にヨーロッパを席卷したシュルレアリスム運動はベルギーでも活発な動きを見せました。ルネ・マグリットやポール・ヌジェ、ポール・デルヴォーは各々の表現を追求し、日常の風景に忍び込む奇想の世界を表しています。詩人から芸術家に転身したマルセル・ブロータールスは、言葉や芸術をとりまく社会的・経済的な事象に鋭く切り込み、後続の芸術家たちに多大な影響を与えました。国際的なレベルでの活動とベルギー人としてのアイデンティティの両立を目指す現代の芸術家たちの中には、ヤン・ファールのように過去の歴史を参照しながらまったく新たな表現を開拓する優れた芸術家たちがいます。

6. ルネ・マグリット《大家族》1963年 宇都宮美術館蔵
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2017 E2524

記念講演会1「ブリューゲル絵画の秘密ーその発想源をめぐって」

講師：森 洋子氏 (明治大学名誉教授)

6月4日 (日) 午後2時～ (約90分)

ミュージアムホールにて 聴講無料 (定員先着250名・要観覧券)

記念講演会2「奇想のイメージーマグリットとシュルレアリスム」

講師：速水 豊氏 (三重県立美術館館長)

6月18日 (日) 午後2時～ (約90分)

ミュージアムホールにて 聴講無料 (定員先着250名・要観覧券)

学芸員による解説会

5月27日 (土) 「第1章15ー17世紀のフランドル美術」

6月17日 (土) 「第2章19世紀末ー20世紀のベルギー象徴派・
表現主義」

7月1日 (土) 「第3章20世紀のシュルレアリスムから現代まで」
午後4時～ (約45分)

レクチャールームにて 聴講無料 (定員先着100名)

おやこ解説会

6月3日 (土) 午前11時～ (約30分)

レクチャールームにて 聴講無料 (定員先着20組)

KEN-Vi名画サロン特別上映

「ブリューゲルの動く絵」

(2011年/ポーランド・スウェーデン/96分)

レフ・マイエフスキ監督

6月10日 (土)

午前10時半～/午後1時～/午後3時～ (入替制)

ミュージアムホールにて (定員先着250名)

料金：大人 (一般・シニア) 1,000円 芸術の館友の会会員500円

主催：兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会、
兵庫県映画センター

※詳細は主催 (tel.078-331-6100) までお問い合わせください。

こどものイベント「わたしの幻想世界」

6月24日 (土) 午前10時30分～/午後2時～ (各回約2時間)

アトリエ2にて 料金：500円 (各回定員30名) 要事前申込

※詳細は5月24日 (水) よりこどものイベント係 (tel.078-262-0908) ま
でお問い合わせください。

ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中毎週日曜日 午前11時～ (約15分)

レクチャールームにて 聴講無料 (定員先着100名)

特別イベント

「幸福のチョコレート講座〈ベルギー編〉」

おいしいチョコレートを求めて世界各地を駆け巡るチョコレートバイヤーみりさんを講師にお迎えします。みりさんお勧めのベルギーチョコレートを試食しながら、チョコレートについての楽しいお話をうかがいます。またあわせて、担当学芸員による展覧会の紹介も行います。

講師：木野内 美里 氏

協力：株式会社フェリシモ

6月11日 (日)、25日 (日) 各日午後3時～ (約90分)

レストラン ラピエール ミュゼ (兵庫県立美術館
内) にて

定員：各回50名

料金：2500円

(チョコレート代、飲み物代、展覧会チケット代含む) (要事前申込・先着順)

申し込み方法：

①氏名 (ふりがな)、②電話番号、③参加希望日、④
参加人数 (1通につき2名まで。同行される方
のお名前もお知らせ下さい) を明記の上、

happy-belgian-chocolate@artm.pref.hyogo.jp

までお申し込みください。

※1週間以内に返信が無い場合、美術館までご確
認ください。

会期中、当館レストラン「ラピエール ミュゼ」で
はベルギーにちなんで焼き立てワッフルとコー
ヒーのセット (1,000円) をご提供します!

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。末尾の申込書をご使用ください。

※画像番号6の作品図版の掲載をされる場合
 別途、貴社から日本美術著作権協会へ、著作権使用承諾の申請及び著作権使用料の支払いをしていただく必要があります（協会へお問い合わせいただき、承諾書の写しと合わせて当館へお送りください）。

(参考)

一般社団法人日本美術著作権協会 (JASPAR)
 東京都中央区銀座3-10-19 美術家会館6階604号
 ※ご連絡は <http://jaspar.or.jp/> の「お問い合わせ」からメールをお願いします。

お問い合わせ先

兵庫県立美術館 <http://www.artm.pref.hyogo.jp/>
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
 Tel: 078-262-0901 (代表) Fax: 078-262-0903

取材・写真提供に関すること
 営業・広報グループ
 Tel: 078-262-0905 (グループ直通) Fax: 078-262-0903

展示内容に関すること
 担当学芸員：小野尚子、飯尾由貴子
 e-mail: ono@artm.pref.hyogo.jp
 Tel: 078-262-0909 Fax: 078-262-0913

【同時開催の展覧会】

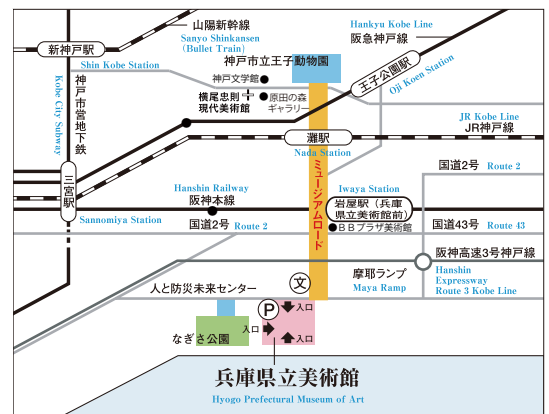
県美プレミアムⅠ
 [特集]Out of Real —「リアル」からの創造／脱却
 4月1日(土)～6月25日(日)

県美プレミアムⅡ
 [小企画]美術の中のかたち 手で見る造形(仮称)
 [特集]新収蔵品紹介(仮称)
 7月8日(土)～10月15日(日)

横尾忠則現代美術館
 開館5周年記念展 ヨコオ・ワールド・ツアー
 4月15日(土)～8月20日(日)

【交通案内】

- ・阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分
 - ・JR神戸線灘駅南口から南に徒歩約10分
 - ・阪急神戸線王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
 - ・JR三ノ宮駅南から神戸市バス(29、101系統)・阪神バス(HAT神戸行き)にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ
 - ・地下駐車場(乗用車80台収容・有料)
- ※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。
 ※団体バスでお越しの場合はバス待機所のご予約をお願いします。



広報画像申込書

兵庫県立美術館

特別展 ベルギー奇想の系譜展 ボスからマグリット、ヤン・ファン・ブールまで

2017年5月20日(土)～7月9日(日)

営業・広報グループ 宛 FAX (078) 262-0903

電話 (078) 262-0905 (直通)

ご希望の画像の番号に○をつけてください。後日データ (.jpg) をお送りいたします。

番号	作家名・作品名・制作年 など
1	トマス・ルルイ《生き残るには脳が足りない》2009年 ロドルフ・ヤンセン画廊蔵 copyright: studio Thomas Leroy, Brussels courtesy: rodolphe janssen, Brussels photo: Philippe D, Hoeilaart
2	ヒエロニムス・ボス工房《トゥヌグダルの幻視》1490-1500年頃 ラサロ・ガルディアーノ財団蔵 ©Fundación Lázaro Galdiano
3	ピーテル・ブリューゲル(父) [原画] / ピーテル・ファン・デル・ヘイデン [彫版] 《魔術師ヘルモゲネスの転落》1565年 プランタン＝モレトウス博物館蔵 Museum Plantin-Moretus/Prentenkabinet, Antwerp - UNESCO World Heritage
4	フェルナン・クノッフ《天使》1889年 ベルギー王立図書館蔵 The Royal Library of Belgium. All rights reserved.
5	ウィリアム・ドグーヴ・ド・ヌンク《運河》1894年 クレラー＝ミュラー美術館蔵 ©Kröller-Müller Museum, Otterlo, The Netherlands
6 要申請	ルネ・マグリット《大家族》1963年 宇都宮美術館蔵 ※別途、貴社から日本美術著作権協会へ、著作権使用承諾の申請及び著作権使用料の支払いをしていただく必要があります(協会へお問い合わせいただき、承諾書の写しと合わせて当館へお送りください)。

※上記作品画像を媒体掲載される際には、記載の**作家名・作品名・制作年**などを必ず入れてください。

※作品画像は**全図で使用**してください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。

※画像データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。(会期終了まで)

※再放送、転載など二次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。

※Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードを施してください。

※基本情報、図版使用の確認のため、**ゲラ刷り・原稿の段階**で営業・広報グループまでお送り願います。

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ	『	』
	TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		FAX	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日		画像到着 希望日	
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大5組10名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限り)		組	名分希望

※本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、**掲載誌・紙または記録媒体 (VTR/DVD)、URL**などを、上記営業・広報宛にお送りくださいますようお願いいたします。

※展覧会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。